

第 20 回岐阜大学技術報告会を終えて

第 20 回岐阜大学技術報告会を平成 30 年 3 月 5 日（火）に全学共通教育講義棟 102 教室において開催しました。この技術報告会は技術職員の技術向上や活動の公開を目的として、日ごろ携わっている業務で得られた成果や創意工夫などを発表し討論を行う場として開催されています。当日は大藤理事・副学長、村井工学部長の開会の挨拶から始まり、特別講演は、社会連携スマート金型技術研究センター長の山下実教授より、「社会連携スマート金型技術研究センターと衝撃分野の研究紹介」と題して講演していただき、その後移動を伴いましたが施設見学をしてもらい、聞いて見てもらうことで分かりやすい特別講演であったと思います。技術報告では、本学技術職員から 6 題、学外から 4 題（名古屋大学の都築氏、磯谷氏、名古屋工業大学の石丸氏、静岡大学の増田氏）で行われ、様々な分野の技術職員の方々の成果報告があり、活発な質疑がなされ有意義な報告会になりました。

今回の報告会では、学外からの発表・聴講が多くありました。これは理事からの挨拶の中でもありました来年度の名古屋大学と岐阜大学による東海国立大学機構設立に先立ち技術職員の交流を兼ねて、名古屋大学から 2 題の報告と聴講に多数の方々に参加していただきました。また報告会終了後の技術交流・情報交換会では短い時間でしたが貴重な交流の場となりました。

大学を取り巻く情勢は刻々と変化し、今までにない大きな変革の時を迎えようとしています。この変化に対応できるよう、今後もより技術職員同士の繋がりや協力が重要になるのではないかと思います。

今回初めて実行委員長を務めることとなりました。決まった時は自分に務まるのかかなり不安でした。頼りない実行委員長で皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかし流石に 20 回も続く報告会だけあり、実行委員や人材育成課の皆様の強力なサポートの下に無事に開催する事が出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

最後になりますが、ご講演、ご発表、ご挨拶をいただきました皆様、他大学からご参加いただきました皆様、並びに技術報告会の準備運営に協力していただいた関係各位に、心からの感謝を申し上げます。

第 20 回岐阜大学技術報告会 実行委員長 小倉 隆博